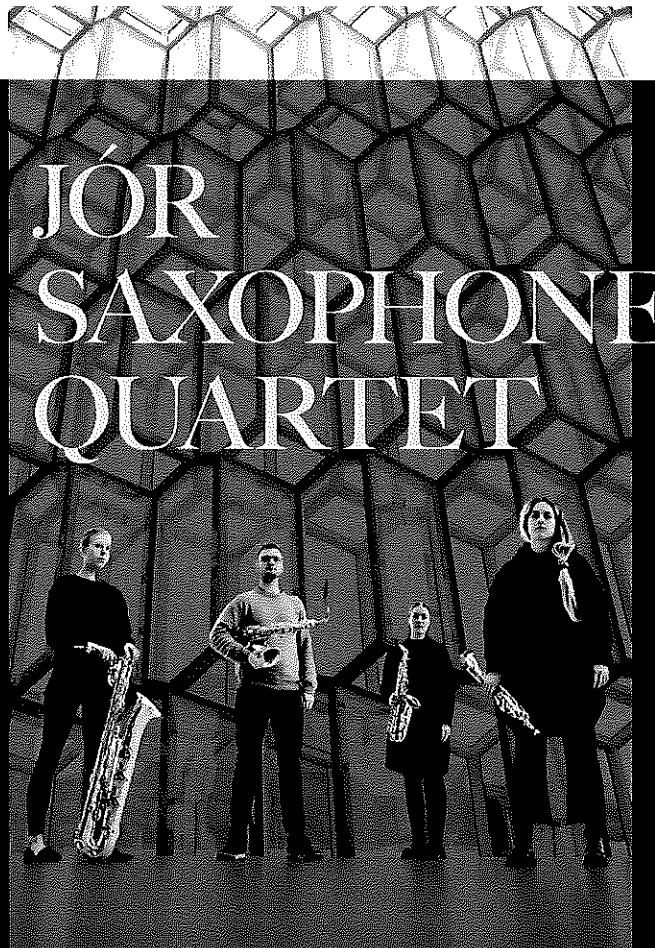


京都 森の音楽祭 とは...



深く豊かな自然とゆるやかに流れる時間の中で、身も心も音楽にゆだねることができる空間。

そしてこの豊かな森と、遠い世界がつながっていきます。

今回は、北欧と日本、南丹地域や子どもたちとの国際交流を目的に開催されます。

ヨアールがお届けする北欧音楽、そして南丹市にゆかりある音楽家たちとのコラボレーションをお楽しみください。

バリトンサクソфон
アンナ・マグヌソン
スウェーデン西海岸で育ち、2016年にエーレブル大学で学士号を取得した。学生時代には現代音楽を学び、Andrea TarrodiやMiklós Marosなどの作曲家と共に活動している。これまでに、王立アカデミーの地元奨学金(スウェーデン)やチーフファジシャン・フィン・インセン氏とその妻カルステン・フィン・インセン氏の基金などの奨学金を受けている。

アルトサクソfon
カトリーヌ・オーサイド
ノルウェーのバウムで生まれ育つ。2017年にノルウェー音楽アカデミーでVibeke Breienに師事し、学士号を取得した。その後、チューリッヒ芸術大学でLars Mlekusch教授の指導のもと修士号を取得。またオーストリアのグラングフォーラム・ウィーンにて現代音楽演奏におけるポストマスター・プログラムも修了している。

テナーサクソfon
モーテン・ノーハイム
ノルウェーのベルゲン出身のスタジオミュージシャン。クラシック、現代音楽、ジャズなど多才で豊かな音楽表現を持合わせたパフォーマーおよび脚興演奏家。グリーグ・アカデミーとオーフス王立音楽アカデミーからクラシック演奏音楽の修士号を取得している。また、ベルゲン・ピッグ・バンドやノルウェー吹奏楽団などのグループでフリーランスとしても活動している。

ソプラノサクソfon
アンニヤ・ネドレモ
ノルウェー/デンマークのサクソfon奏者で、国際的に活動している音楽家である。2018年4月にソリストプログラムを卒業したオーフス王立音楽アカデミーでサクソfon講師を務めている。これまでにオールボー交響楽団やランダース室内管弦楽団などのアンサンブルと共演。2015年にはレオニー・ソング劇団から才能奨学金を受賞し、2017年にはアンチェンとアイギル・ハービー基金から賞を受賞した。

ヨアール・サクソfon・カルテット は2017年に北欧地域トップクラスの若手奏者で構成されたサクソfon四重奏団。北欧伝統音楽や作曲家とコラボレーションし、世界規模で北欧音楽を積極的に推進している。伝統的な作品から新しく書かれた実験的な作品まで幅広いレパートリーを有している。期待の四重奏団。

Profile

6日 11:00- ゲスト

美山民謡会

美山民謡会は13名の会員が、三味線・尺八・太鼓などの生演奏により、日本各地の民謡を楽しく唄っています。人の声には一人ひとり個性があり、また唄い方にもそれぞれ特徴があって、聞く人を楽しませるものがあります。また、月2回、人の和を大切にし「明るく・楽しく・元気よく」をモットーに練習に励んでいます。会の活動として、各施設訪問やイベント等の積極的参加を心がけています。今後益々練習を積み重ね、皆さんに楽しんでいただける民謡を唄えるよう努力していきたいです。

6日 19:00- ゲスト

日下部 任良 サクソfon/京都・森の音楽祭 代表

京都府亀岡市出身。趣味は珈琲焙煎、サウナ、ラン。愛知・京都・広島を拠点にソロや室内楽で活動し、また吹奏楽・管弦楽団の客演を務めている。広島ウインドオーケストラおよび現代アンサンブル・ロゼッタ所属。1st.アルバム『CHANT』レコード芸術《特選盤》音楽現代《推薦盤》選出。愛知県立芸術大学音楽学部卒業時に桑原賞受賞。ウィーン市立音楽芸術大学大学院を最優秀の成績にて修了。京都女子大学非常勤講師(木管楽器)。

